

# 「イエス様に選ばれた人が受ける幸い」

マルコによる福音書 3:13-19

主任牧師：重田 稔仁

<メッセージ>

マルコによる福音書 3:13-19

序論

多くのクリスチャンが、「私がイエス様を選んだのではなくイエス様が私を選んでくださった」と信じて生きています。

それはイエス様がそう教えたからです。

あなたがたがわたしを選んだのではない。

わたしがあなたがたを選んだ。

(ヨハネによる福音書 15章 16節)

今朝は「イエス様に選ばれた人の幸い」と題してお互いの信仰ライフを顧みさせて頂きたいと思えます。

2箇所、聖書をお読みします

聖書朗読

マルコによる福音書 3:13-19

「イエスが山に登って、これと思う人々を呼び寄せられると、彼らはそばに集まって来た。そこで、十二人を任命し、使徒と名付けられた。彼らを自分のそばに置くため、また、派遣して宣教させ、悪霊を追い出す権能を持たせるためであった。こうして十二人を任命された。シモンにはペトロという名を付けられた。ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ、この二人にはボアネルゲス、すなわち、「雷の子ら」という名を付けられた。アンデレ、フィリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、それに、イスカリオテのユダ。このユダがイエスを裏切ったのである。」

申命記 7: 6~8

「あなたは、あなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地の面にいるすべての民の中からあなたを選び、御自分の宝の民とされた。主が心引かれてあなたたちを選ばれたのは、あなたたちが他のどの民よりも数が多かったからではない。あなたたちは他のどの民よりも貧弱であった。ただ、あなたに対する主の愛のゆえに、あなたたちの先祖に誓われた誓

いを守られたゆえに、主は力ある御手をもってあなたたちを導き出し、エジプトの王、ファラオが支配する奴隷の家から救い出されたのである。」

マルコの福音書3章はイエス様が12人の弟子を選んだことについて、申命記7章は主がイスラエルの民を選んだことについて記していますが。この2つの記事は共に、『神の選びは唯々神の愛によって、恵みによってなされる』ということを示しています。つまりイエス様に選ばれた12人の弟子も、主に選ばれたイスラエルの民も選ばれた側にその選びの根拠や資格、理由があるのではなく選んだ方、すなわち主なる神のうちにその目的があるということです。

イエス様が12人を選んだ目的は何か！

マルコ3：14によると、それは12人を使徒=遣わされる者と名付け彼らを自分のそばに置き彼らを宣教に派遣して悪霊を追い出す権能を持たせるため！だとあります。

3:14に12人を任命したとありますが、  
〈任命〉という単語の任命=造るという意味  
その原意は、陶器師が陶器を形作るという意味ですが、イエス様は12人を新しい人に作るうとなさったのです。ところでイエス様に選ばれた当の12人にとって、それはどのような意味があったのでしょうか。

それはイエス様が自分たちを選んでくださったのだから、自分たちをイエス様は見捨てないと確信出来た！ということです。

わたしは、あなたに約束したことを果たすまで決して見捨てない。」

イザヤ41:9

強くあれ。雄々しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、  
【主】ご自身が、あなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。

申命記 31章6節

イエス様は弟子たちに平安を与えるため、すなわち私たち全ての人間がその心の奥底に抱えている〈神に見捨てられるかもしれない〉という得体の知れない不安を完全にぬぐうためにイエス様自ら彼らを選んだのです！

みなさん、イエス・キリストの福音は、神はいかなる人も、その罪のゆえに見捨てず滅びに

引き渡さないという神の愛が本質です。人がこの福音に生きるために、その初穂としてイエス様は、12人を選び任命したのですが。

イエス様は、12人と同じように私たちをも招き、私たちを選びイエス様の福音の使者として任命して下さいます！

イエス様に選ばれ、任命される時、私たちは人類がアダムとエバが樂園で善悪を知る木の実を食べて以来、苦悩してきたその魂の奥底に潜む得体の知れない不安すなわち神に見捨てられるかも知れないという不安から解放されるのです。

人は意識するかしないかに関わらず、皆この不安を抱えています。聖書はその原因について“人は皆、罪の中に生まれてくるから”だと教えています。

「あなたに背いたことをわたしは知っています。わたしの罪は常にわたしの前に置かれています。わたしは咎のうちに産み落とされ 母がわたしを身ごもったときも わたしは罪のうちにあったのです。」

詩編 51:5, 7 新共同訳

イエス様は私たち全ての人間の罪を滅ぼし、私たちを罪がもたらす魂の奥底にある不安から解放するため、十字架にかかって死んで3日目に蘇って下さいました。それはイエス様を信じる者が一人も滅びることなく永遠の命に預かるためです。

この永遠の命は、イエス様の呼びかけに応答するものたちを罪の不安に生きるものから、イエス様の平安に生きるものへと新しく作り変えて下さいます。

まとめ～

イエス様は、平安の主です。聖書の神は平安の主です。

みなさんイエス様の呼びかけに応答してイエス様の平安に預かりませんか。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」

マタイによる福音書 11:28-30

祈り